

# これからのコミュニティ・スクール

後編

市に学校運営協議会制度が導入され、全ての小・中・義務教育学校がコミュニティ・スクールになって5年目。牛久市の取り組みは、文部科学省主催のフォーラムで参考事例として紹介されたり、他県からも視察がくるなど全国的に注目されています。

「これからのコミュニティ・スクール」前編ではコミュニティ・スクールの現状や牛久市の取り組みについてご紹介しました。後編では、さらに具体的な活動についてご紹介します。

**地域とともにある学校づくりを目指す**

市では、学校理解を深め、目指す子ども達の資質・能力の育成を共有した学校運営協議会の委員による授業づくりが行われています。

牛久南中学校の総合的な学習の時間では、地区交流会を通して区長を中心に地域課題の解決に向けた取り組みが行われました。中学生の主体性を育てたいという委員さんの思いから、地域のお祭りの企画から、買い出し、当日の運営まですべてが中学生に任せて行われました。参加した中学生は、自分たちの地域を少しでも活気づけたいと休みの日にも、地域の方と打ち合わせを行いました。お祭り当日には、保護者や他の地区の中学生も参加し、多くの地域住民がつながる機会が生まれ、生まれました。



**地域とともにある学校から学校を中心としたまちづくりへ**

幅広い地域住民の参画を得て、学校と地域が連携・協働したさまざまな活動が行われています。このような活動を「地域学校協働活動」といいます。

市内全小学校で実施されている「うしく土曜カッパ塾」も地域学校協働活動のひとつです。うしく土曜カッパ塾では、地域の方の協力を得て豊かな心や地域の方とのつながりがもてる活動を提供しています。子どもたちの体験活動を通して、関わる大人も学び合い育ちあう教育体制の構築が図られています。そしてその先には、地域の将来を担う人材の育成や、自立した地域社会の基盤の構築を図る、学校を核とした地域づくりの実現を目指してまいります。

## 《これからの学校と地域の目指すべき連携・協働の姿》

### 地域とともにある学校への転換

開かれた学校から一歩踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体になって子どもたちを育む「地域とともにある学校」に転換

**コミュニティ・スクール**  
学校運営に参画する

### 子どもも大人も学び合い育ちあう教育体制の構築

地域のさまざまな機関や団体等がネットワーク化を図りながら、学校、家庭および地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「子どもも大人も学び合い育ちあう教育体制」を一般的・総合的な体制として構築。

### 学校を核とした地域づくりの推進

学校を核とした協働の取り組みを通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る「学校を核とした地域づくり」を推進。

**地域学校協働本部**  
教育活動を支援する

## 市で行っている地域学校協働活動

### 学びによるまちづくり・地域課題解決型学習・郷土学習

- ◎地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動。
- ◎「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調査・発表などを行う学習活動
- ◎地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習など

総合的な  
学習の時間  
(学校活動)

### 放課後子ども教室

- ◎地域住民の参画を得て、放課後等にすべての児童を対象として行う学習や体験・交流といった多様な活動

うしく土曜  
カッパ塾  
(地域活動)

### 地域未来塾

- ◎中・高校生等を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援

うしく放課後  
カッパ塾  
(地域活動)

### 家庭教育支援活動

- ◎寄り添いが必要な子ども、不登校傾向のある子ども等への対応について、保護者が学び合う機会づくりなど

家庭教育  
学級  
(地域活動)

### 学校に対する多様な協力活動

- ◎登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子どもたちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援、企業等による出前授業等の教育プログラムの提供(土曜学習応援団)など

授業支援  
(学校活動)

### 地域の行事、ボランティア活動等への参画

- ◎地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画など

地域活動に  
学校が協力

※参考文献…「学習指導要領」(文部科学省)「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」(中央教育審議会 平成27年12月21日)